

受講者募集

平成28年度 まちづくりセミナー 明日を託す子どもたちへ ～いま、私にできること～

社会福祉ボランティア大学校では、「平成28年度まちづくりセミナー」の受講者を募集しています。今年度のセミナーは、子どもや子育て支援をテーマに実施します。

子どもをとりまく環境や子育ての現状について学ぶとともに、実際に保育所など市内施設での体験活動を行います。このセミナーで子どもたちのためにできることを探してみませんか。

- 日程：5/28、6/4、6/18、6/25、7/2(全5回、すべて土曜日)
- 会場：ウェルとばた12階H・研修室 他
- 申込み：社会福祉ボランティア大学校 ●受講料：700円(5回分)
TEL 881-6321【締切5/12(木)】申込多数の場合は抽選となります。

明日を託す子どもたちへ ～いま、私にできること～

北九州市保育士会 会長 (北九州市保育所連盟 副会長)
あけぼの愛育保育園園長 北野 久美



北九州市保育所連盟 副会長
北九州市保育士会 会長
講師 北野 久美 さん

子どもたちの顔は みんな明るく輝いている
外からの光ではなく 内からの光である。
天の太陽は 雲に包まれる日があっても、
ここの小さな太陽たちは、 いつだって好天気だ

(六月 倉橋惣三)

この言葉は、倉橋惣三先生の「育ての心」の文章の引用です。子どもは明るくて元気です。しかし、それだけではなく、「子どもの存在」そのものが希望の存在であり、未来からの預かりものであると、この言葉を目にするたびに思います。

子どもは、大人の小型ではありません。そして、人格を持ち、育つ力を持ったひとりの人間です。

生まれながらに、自らが育つ力を持つ子どもですが、その力は周囲の大人の愛情に包まれてこそ、より大きな力を発揮します。

しかし、子どもを取り巻く環境は決して良いとは言えず、昨今の、虐待や貧困等の報道には耳を塞ぎたくならず、心は痛みます。

このセミナーでは、大切な命をお預かりし、子育ての支援をさせていただいている私の経験を活かして、「子どもの育ちのこと、子育て、親育ちのこと」「学びの場である保育所のこと」等をお伝えしたいと思います。

さらに、保育士体験を実践していただき、集団の中で仲間と育

ち合う子どもの姿を、より身近に感じていただきたいと考えています。

私たち保育士、保育者は、「子育て応援団」だと自負していますが、このセミナーを通して、参加者の皆様も、「子育て応援団」「保育者応援団」になっていただけたら幸いです。

子どもを育てるということは、未来を育てるということ…。未来育てを一緒にしませんか？

研修内容

- 第1回 5月28日(土) 10時～12時
講演 「子どものこと、子育てのこと」
- 第2回 6月4日(土) 10時～12時
講演 「保育所へようこそ!」
- 第3回 6月18日(土) 10時～12時
活動発表 「さまざまな活動のかたち」
- 第4回 6月25日(土) 10時～16時
体験活動 「1日ボランティア体験」
- 第5回 7月2日(土) 10時～12時
交流会 「明日から私ができること」

北九州市社会福祉ボランティア大学校

北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 研修課 (ウェルとばた3F)
TEL881-6321/FAX881-6306 http://www.kitaa-shakyo.or.jp/vol
●時間：9時～17時 ●休み：日・月曜日・祝日(月曜日が祝日の場合、翌日も休みです)



シリーズ福祉エッセイ「しあわせづくり、ひとづくり」⑭

支援は心の元気薬

福祉教育に携わる一人として思うことがある。人の幸せについてである。高齢社会が進展する中、高齢者の特徴を喪失の時期だといった学者の言葉が脳裏から離れない。確かに健康や経済的基盤を喪失し、社会的なつながりや生きがいをも喪失しかねない。

「あなたは幸せですか」「なぜ幸せですか」の問いに、健康、家族や友人、恋人等の存在、お金、仕事、趣味や生き甲斐等を幸せの要件にあげる方も多い。しかし、これらのものは、時として喪失してしまう恐れのあるものばかり。あれば幸せ、なければ不幸という相対的なものである。だから、喪失したものを与えよう、得ようとする。一方、これらの喪失の有無に支配されない幸せがあるのか。去る2月に本学で開催したシンポジウムで特別養護老人ホームの施設長は、施設における身体的介護は当然のことながら、心が死なないように支える必要性を力説。私たちはそれぞれに心という宝物を持っている。いかなる喪失の環境にあってもみんなの力で心に輝きを蘇らせることなのだ直感した。喪失によって不幸感に苛まれる時、一緒に負けじと闘おう、創りだそうと励みしから、未来に一筋の希望を。未来を信じる力は、心に輝きを蘇らせる。だから支援や励ましは、最高の良薬であることを私たちは忘れてはいけない。



九州大谷短期大学
教授

中村 秀一 さん

ボランティア活動も同様だ。きっかけは、誰かのためにと責任感や使命感等がきっかけなのかもしれないが、気がつけば自分の原動力となっている場合が多い。父は、ソフトボール協会の事務局長や少年ソフトの育成にボランティアとして長年携わった。余命を宣告されても活動を止めず、臨終の直前まで一歩も引くことなく一生を終えた。晩年の父は輝いていた。体はボロボロになっていくが、温かくくり広げられる関係者の支援と葛藤の連続のなかで、心が勝利し父を輝かせた。現在、母は認知症。その母を家族で介護している。確かに現実は大変である。母に優しくできると母の顔に笑みが。辛くあたると悲しむ。近年、自分自身に言い聞かせる言葉がある。「さあ、今日も自分と闘うぞ」。本当の優しさとは強さである。どんな時代にあっても人としての精神性は大切である。福祉教育に生きる一人として、人を支援することで心が元気になることを感じて欲しい。



受講者募集

福祉有償運送運転協力者研修

運転ボランティアの入門研修

(申込み:社会福祉ボランティア大学校)

国土交通大臣に認定され、平成17年度から開始した「福祉有償運送運転協力者研修」は平成27年度までに約2000名が受講し、高齢者や障害のある人などの外出支援を行う福祉有償運送実施団体の運転ボランティアとして活動しています。

研修では車いすの積載装備を持つ福祉車両の研修と、装備のない車で活動するためのセダン型研修があります。高齢化が急速に進展する中、利用希望者の増加が予想される在宅高齢者の外出支援に対し、この研修を受講して新たな活動者としての第一歩を踏み出してみませんか。

	福祉車両型	セダン型	申込期間
会場	玄海青年の家	ウェルとばた	—
第1回	6/12(日) 9:15～18:25	6/18(土) 9:15～11:40	5/6～5/24
第2回	10/16(日) 9:15～18:25	10/22(土) 9:15～11:40	9/13～10/1
第3回	H29/3/4(土) 9:15～18:25	H29/3/5(日) 9:15～11:40	H29 2/1～2/17
受講料	市内福祉有償運送実施団体登録者1,000円。 それ以外の方7,000円。		

事業案内

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修

私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、地域住民が主体となった小地域福祉活動を校(地)区社会福祉協議会が中心となって展開しています。

今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくかを市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。

実施主体：市・区社会福祉協議会
研修日程：6月30日(木) 10:00～15:10
会場：ウェルとばた 2階 多目的ホール
対象者：今年度新たに校(地)区社会福祉協議会役員(会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等)に就任された方(定員100名)。
研修内容：講義「小地域福祉活動の意義と校(地)区社協運営について」
事例紹介「校(地)区社協運営」
講義「(仮)地域の関係団体との連携・協働について」